

競技規則

- 1, 試合は組合せ表のとおりとする。
- 2, ベンチは組合せ表の左がオフィシャルに向かって右側、ユニフォームは淡。
ベンチ入りは、選手(15名以内)・ヘッドコーチ1名・アシスタントコーチ1名・マネージャー1名
・チーム関係者の合計19名以内とする。
- 3, ユニホームの番号はできる限り連番とする。
- 4, メンバー表を前の試合のハーフタイムまでに、オフィシャル(以下、T・O)に提出すること。
第一試合目については試合開始10分前に提出すること。
- 5, 試合時間は5分-1分-5分-3分-5分-1分-5分のクォーター制とする。
タイムは審判のすべての笛で止まる。
- 6, 予選リーグ、トーナメント戦ともに、同点で試合が終了した時は、2分後に3分間の延長
を行う。第4クォーター終了時のファールは継続する。
3分間の延長で、得点と同じならば、繰り返し行う。
なお、タイムアウトは各延長時限に認められる。
- 7, 予選リーグで3チームの勝敗が同じになった場合は次の順番で順位を決める。
 - ①ゴールアベレージ(総得点÷総失点)
 - ②得失点差(総得点-総失点)
 - ③総得点の多い方
 - ④コーチによる抽選
- 8, オフィシャルは、予選リーグ、決勝トーナメントと共に対戦表に記載されている通りとする。
- 9, 第1クォーター・第3クォーターに出場する選手は、審判が1分前の合図をしたら直ちに、
また第2クォーター・第4クォーターに出場する選手は、前クォーター終了直後に
オフィシャルに出場選手を報告しなければならない。
- 10, 試合時間を10分過ぎても対戦相手が来ない場合は、不戦勝(20対0)とする。
- 11, 試合時間が遅れた場合は、前試合終了後10分後に開始する。
ただし、4チームブロックは、連続試合及びTO後の準備のため20分後とする。
- 12, キャプテン・プレイヤー・チーム関係者は、いかなる場合も審判の判定に抗議できない。
- 13, やむをえず選手の変更をする場合は、当日の朝大会本部に申し出て承認を受け、
試合開始前に審判及び対戦チームに報告をする。
- 14, 競技規則は、現行日本バスケットボール協会競技規則及びミニバスケットボール
競技規則を準用し、マンツーマンディフェンスを推進する。
なお、決勝戦は、マンツーマンコミッショナーをつける。